

卒業写真



明治12(1879)年
小学師範科第1回卒業生の卒業記念写真



明治25 (1892)年
小学師範科卒業生の卒業記念写真

2010年5月12日 お茶の水女子大学論

・ 1932(昭和7)年

現在地(文京区大塚)の新校舎に移転



卒業式 2010年3月23日



2010年5月12日 お茶の水女子大学論

本学の歴史

- 1875(明治8)年 御茶ノ水(現文京区湯島)の地に、我が国最初の女性の高等教育機関として東京女子師範学校創立
- 1885(明治18)年 東京師範学校に合併され、東京師範学校女子部となる
- 1886(明治19)年 東京師範学校から高等師範学校と改称
- 1890(明治23)年 高等師範学校から女子部を分離し、女子高等師範学校を創設
- 1908(明治41)年 奈良女子高等師範学校の設置に伴い、東京女子高等師範学校と改称
- 1923(大正12)年 関東大震災のため、校舎焼失
- 1932(昭和7)年 現在地(文京区大塚)の新校舎に移転
- 1949(昭和24)年 お茶の水女子大学(文学部・理家政学部)設置
- 1950(昭和25)年 文学部を文教教育学部に、理家政学部を理学部及び家政学部に変更
- 1963(昭和38)年 大学院家政学研究所(修士課程)を設置
- 1964(昭和39)年 大学院理学研究所(修士課程)を設置
- 1966(昭和41)年 大学院人文科学研究科(修士課程)を設置
- 1976(昭和51)年 大学院人間文化研究科(博士課程)を設置
- 1992(平成4)年 家政学部を生活科学部に改組
- 1997(平成9)年 大学院人文科学・理学・家政学研究科(修士課程)を廃止し、大学院人間文化研究科(博士前期課程)に改組
- 2004(平成16)年 国立大学法人お茶の水女子大学を設置
- 2007(平成19)年 大学院人間文化研究科を大学院人間文化創成科学研究科へ改組

2010年5月12日 お茶の水女子大学論

Ⅲ. 国際交流

第一步: タイからの留学生 1903(明治36)年



明治36(1903)年5月、シヤム(現在のタイ)国皇后の発意によりシヤム国駐在の日本公使の仲介で男女8名がわが国に留学し、本校ではそのうち女子4名(ジョン、スワン、ピット、リイ)を受け入れた。4名は当初の予定では3年間であった留学期間を1年延長し、明治40年3月に卒業のうえ帰国(1名は病気のため39年中に帰国)。

2010年5月12日 お茶の水女子大学論

国際交流の現在

■ 国際交流協定校

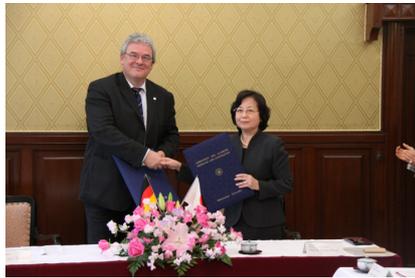
22カ国39大学(平成22年4月現在)
交換留学制度や語学研修プログラムを利用し、協定校へ留学することができます。

■ 留学生数 255(平成22年5月現在)

出身国・地域	人数	出身国・地域	人数	出身国・地域	人数	出身国・地域	人数
中国	136	インドネシア	2	モンゴル	1	オランダ	1
韓国	60	アフガニスタン	2	ミャンマー	1	クロアチア	1
台湾	22	フィンランド	2	ネパール	1	コロンビア	1
タイ	8	英国	2	トルコ	1	エジプト	1
ベトナム	3	オーストラリア	2	カザフスタン	1	ボツワナ	1
ロシア	3	マレーシア	1	ノルウェー	1	ニュージーランド	1

2010年5月12日 お茶の水女子大学論

ケルン大学との大学間協定調印式
(2010年3月)



2010年3月18日

2010年5月12日 お茶の水女子大学 会議室

国際交流のためのプログラム

(平成22年度)

- 現在実施中のプログラム
 - ◇女性リーダーを創出する国際拠点の形成
 - ◇グローバル社会における平和構築のための大学間ネットワークの創成－女性の役割を見据えた知の国際連携－
 - ◇大学教育の国際化加速プログラム(国際共同・連携支援) [東京医科歯科大学共同事業]
 - ◇若手研究者インターナショナル・トレーニング・プログラム
 - ◇研究者海外派遣基金助成金 [組織的な若手研究者等海外派遣プログラム]
 - ◇大学院教育改革支援プログラム 「日本文化の国際発信スキルの育成」

2010年5月12日 お茶の水女子大学

IV. 教育の理念

• 教育のあり方

人間は、自分が知っているものも知らないものも、これを探究することはできない。
知っているものを探究するということはありません。
なぜなら、知っているのだし、ひいてはその人には探究の必要が全くないわけだから。

また、知らないものを探究するということもありません。
なぜなら、その場合は、何を探究すべきか、ということも知らないはずだから。

メノン：あなたには、この議論がよくできているとは、思えませんか、ソクラテス。
ソクラテス：ぼくはそうは思わないわ。

プラトン(Platon)『メノン』藤沢令夫訳 岩波文庫 pp.45-6

2010年5月12日 お茶の水女子大学

• 教育のあり方

スコラの教育：

伝達、再生、体系化
教師は代替可能な知の仲介者 伝達と蓄積

マイスター的教育：

卓越した個人、尊敬と愛、権威 従属と追従

ソクラテスの教育：

無知の自覚、可能性の覚醒 相互に同等

(Jaspers, Was ist Erziehung)

• 批判、創造、自律

2010年5月12日 お茶の水女子大学

「批判」

• 批判 Kritik

「私がここでいう批判は、書物や体系の批判ではなく、理性が一切の経験にかかわりなく得ようとするあらゆる認識に関して、理性能力一般を批判することである。

したがって、この批判は、形而上学一般の可能性や不可能性の決定、この学の源泉、範囲、限界の規定ということになる。…」

(Kant, Kritik der reinen Vernunft, A XII)

• ‘cogito ergo sum’(われ思う、故にわれあり)

(R.Descartes)

2010年5月12日 お茶の水女子大学

「創造」と「自律」

• ニーチェのルサンチマン ressentiment

Gut (←→schlecht)

Böse ← ① ①まず、「悪い敵」「悪人」を想定する

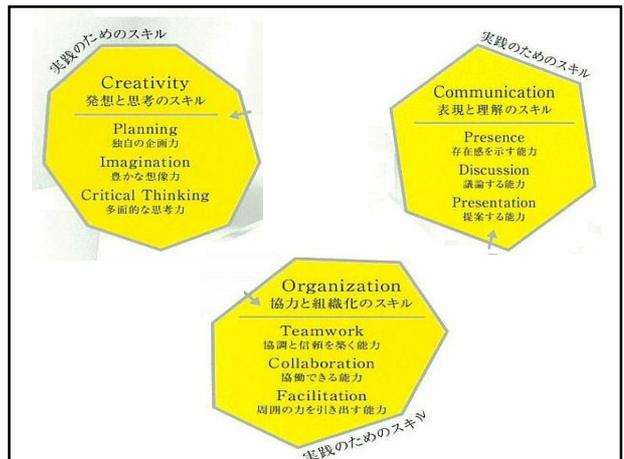
→ ② gut ②それを基本概念として「善人」を考案
これが自分なのだ！

奴隷道徳は「外からのもの」、「自己でないもの」を頭から否定する。

評価眼のこの逆転－自己自身へ帰る代わりに外へ向かうこの必然的な方法－これこそはまさしくルサンチマンの本性である。

(Nietzsche, Zur Genealogie zur Moral, 1887 第一論文[10])

2010年5月12日 お茶の水女子大学



V. 研究の理念

• 理性の運命

人間の理性は、ある種の認識について特殊な運命を担っている。理性が斥けることもできないし、応えることもできないような問題に悩まされるという運命。

斥けることができないのは、その問題が理性の本性からして理性に課せられているから。応えることができない、というのは、この問題が人間の理性の能力を超えているから。

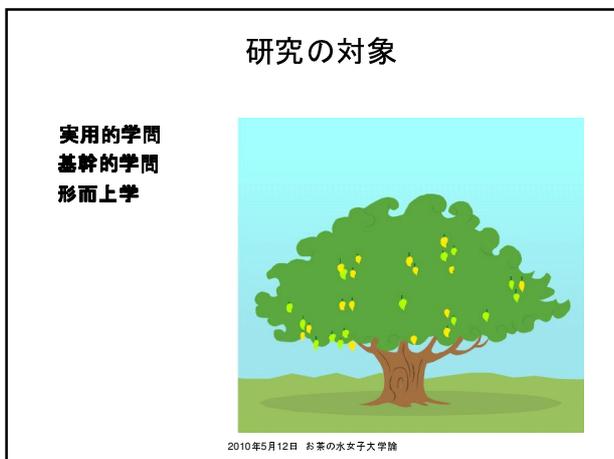
人間の理性がこのような窮地に陥るのは、理性に責めがあるわけではない。理性は原則から出発するが、その原則は、経験においては必ず使われなければならない。

この原則によって、理性は条件からさらにその条件へと、条件の系列を次々とさかのぼる。

しかも問題はいつになっても尽きること知らないで、理性はこのような仕方では自分のなすべきことがいつまでも不完全な領域にとどまっていなければならないことに気づく。

カント(I, Kant)『純粹理性批判』

2010年5月12日 お茶の水女子大学論



日本初の女性博士

保井コノ(1880-1971)

香川県出身。
1898(明治31)年 女子高等師範学校理科の第一回生として入学
1911(明治44)年 『Annals of Botany』(英国)に論文を発表。日本の女性研究者が外国に発表した初の科学論文
1919(大正8)年 東京女子高等師範学校 教授就任
1927(昭和2)年 **理学博士。日本初の女性博士**となる

1927年(昭和2)年 47歳
学位取得の頃 顕微鏡と共に

2010年5月12日 お茶の水女子大学論

女性初の帝国大学入学生

黒田チカ(1884-1968)



1942(昭和17)年6月
理化学研究所の実験室にて

佐賀県出身。
1902(明治35)年
女子高等師範学校理科入学
1913(大正2)年
東北帝国大学理科大学に入学。
女性初の帝国大学入学
1918(大正7)年
東京女子高等師範学校 教授就任
1929(昭和4)年
理学博士
1953(昭和28)年
ケルセチンの研究で特許

2010年5月12日 お茶の水女子大学論

初の女性農学博士

辻村みちよ(1888-1969)



1951(昭和26)年5月
米国視察(1-4月)帰朝の際の記念写真 2010年5月12日 お茶の水女子大学論

埼玉県出身。
1909(明治42)年
東京女子高等師範学校理科入学。(20歳)
1913(大正2)年
東京女子高等師範学校理科卒業し、
神奈川横浜高等女学校教諭となる。
1922(大正11)年
東京帝国大学医学部医化学教室に移動し、
生化学の研究を続ける。
1932(昭和7)年
農学博士。**日本初の女性農学博士。**
1949(昭和24)年
お茶の水女子大学教授就任
1950(昭和25)年
初代家政学部長

国際的な女性物理学者

湯浅年子(1909-1980)



1948(昭和23)年頃
学生との昼食会、敬音堂の屋上で

東京都出身。
1927(昭和2)年
東京女子高等師範学校理科入学。
1940(昭和15)年
フランス政府給費留学生として渡仏。
1943(昭和18)年
フランス国家学位(理学博士)
1945(昭和20)年
東京女子高等師範学校 教授就任

2010年5月12日 お茶の水女子大学論

研究の理念

- 科学と技術
「技術は単に手段であって、それ自体は善でも悪でもない。重要なのは、人間は何の目的で技術を用いるのか、である。
技術に支配されるのではなく、技術を支配する人間とはどのような人間か、が問題なのである。」
(K.Jaspers)
- 人間性を磨き、知の限界に挑戦し、
新たな世界を拓く

2010年5月12日 お茶の水女子大学論

VI. お茶の水女子大学の教育と研究

- 教育の理念:
「批判し、創造し、自律の基盤を習得する。」
高度な教養教育 (リベラルアーツ/リーダーシップ)
- +
- 研究の理念:
「人間性を磨き、知の限界に挑戦し、
新たな世界を拓く。」
基盤研究/先端研究

2010年5月12日 お茶の水女子大学論

講演会 シンポジウム予告

- 6月2日(水) リーダーシップ講演会
「国際性と日本らしさ」 国際交流基金理事 小倉和夫氏
- 7月21日(水) 学術研究シンポジウム
「生活者の視点に立った学術研究」
日本学術振興会、学術研究フォーラムとの共催
開会挨拶 小野元之(日本学術振興会理事)
講演 坂元章教授:メディアは人間にどのような影響をもたらすか?
シンポジウム
黒木登志夫(日本学術振興会学術システム研究センター副所長)
小笠香穂子(科学技術振興機構男女共同参画主監)
藤田真理子(お茶の水女子大学准教授)
コメンテーター 阿部博之(科学技術振興機構顧問)
学術研究フォーラム代表幹事
開会挨拶 石井素郎(日本学術振興会学術システム研究センター相談役
学術研究フォーラム代表幹事)

2010年5月12日 お茶の水女子大学論

Ⅶ. 国立大学の役割と使命

1) 日本における女性の活躍状況; 国際的位置

日本の国際的地位
—GDP, HDI, GDI, GEMの国際比較—

- GDP: 国内総生産 (Gross Domestic Product)
- HDI: 人間開発指数 (Human Development Index)
国連開発計画による指標で平均寿命、教育水準 (成人識字率と就業率)、調整済み一人当たり国民所得を用いて算出。
- GDI: ジェンダー開発指数 (Gender-related Development Index)
国連開発計画による指標で、HDI (人間開発指数) に男女間格差を加味して算出。
- GEM: ジェンダーエンパワーメント指数 (Gender Empowerment Measure)
国連開発計画による指標で、国会議員、管理職、専門職等に占める女性比率で算出。

2010年5月12日 お茶の水女子大学論

GDP	HDI (人間開発指数)	GDI (ジェンダー開発指数)	GEM (ジェンダーエンパワーメント指数)
1 アメリカ	アイスランド	アイスランド	アイスランド
2 日本	ノルウェー	オーストラリア	スウェーデン
3 中国	オーストラリア	ノルウェー	フィンランド
4 ドイツ	カナダ	カナダ	デンマーク
5 フランス	アイスランド	スウェーデン	アイスランド
6 イギリス	スウェーデン	オランダ	オランダ
7 イタリア	スイス	フランス	ベルギー
8 ブラジル	日本	フィンランド	オーストラリア
9 ロシア	オランダ	スイス	ドイツ
10 スペイン	フランス	イギリス	カナダ
11 カナダ	フィンランド	デンマーク	ニュージーランド
12 インド	アメリカ	スペイン	スペイン
13 メキシコ	スペイン	日本	オーストリア
14 オーストラリア	デンマーク	ベルギー	イギリス
15 韓国	オーストリア	アイスランド	アメリカ
16 台湾	イギリス	アメリカ	デンマーク
17 トルコ	ベルギー	イタリア	アルゼンチン
18 ポーランド	ルクセンブルグ	ニュージーランド	フランス
19 インドネシア	ニュージーランド	オーストリア	アイスランド
20 ベルギー	イタリア	ドイツ	バハマ
...
53 ニュージーランド	ブルガリア	トンガ	ドミニカ共和国
54 ベルギー	セントクリストファー・ネイビス	ルーマニア	日本
55 クウェート	トンガ	バハマ	モルバ共和国

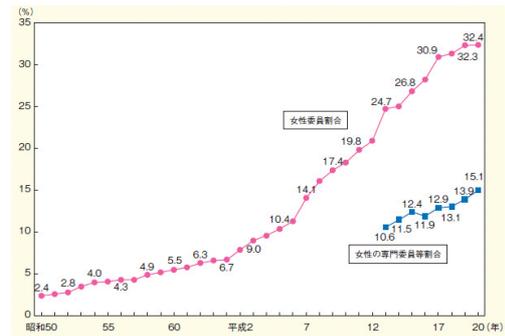
※世界銀行2008年GDPランキング、国連開発計画 (UNDP) Human Development Report 2007/2008
Fighting climate change: Human solidarity in a divided worldより作成

立法: 世界各国の議会における女性議員比率

	Single House or Lower House (%)	Upper House or Senate (%)
世界平均	18.3	17.3
1 ルワンダ	56.3	34.6
2 スウェーデン	47.0	-
3 南アフリカ	44.3	29.3
4 キューバ	43.2	-
5 アイスランド	42.3	-
6 フィンランド	41.5	-
7 オランダ	41.3	34.7
8 デンマーク	39.0	-
9 アンゴラ	37.3	-
10 コスタリカ	36.6	-
11 スロベニア	36.3	30.0
12 リトウエイ	36.1	-
13 アンダラ	35.7	-
14 ベルギー	35.3	38.0
15 モザンビーク	34.8	-
16 ニュージーランド	33.4	-
17 ネパール	33.2	-
18 エクアドル	32.3	-
19 ドイツ	32.2	21.7
20 ベラルーシ	31.8	33.3
...
101 ケニヤ	9.8	-
102 ガンビア	8.4	-
日本	8.4	18.4

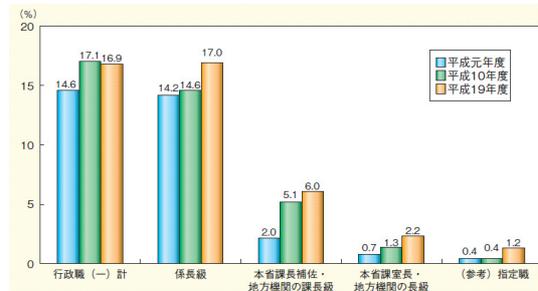
※2019年7月31日現在 対象197か国
Inter-Parliamentary Union "Women in National Parliaments"より作成
https://www.ipu.org/women/wm4.htm

国の審議会等における女性委員の割合



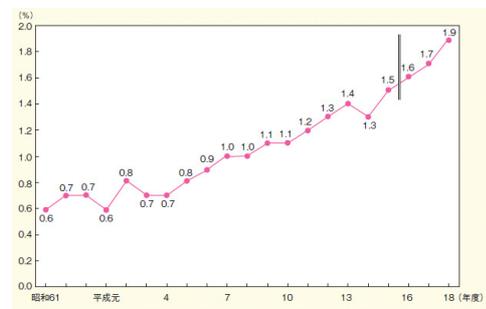
2010年5月12日 お茶の水女子大学論 出典:平成21年版 男女共同参画白書

行政: 一般国家公務員の役職段階別の女性割合行政職(一)



(備考) 1. 人事院「一般職の国家公務員の任用状況調査報告」より作成。
2. 平成元年度、10年度は各年度末、19年度は11月31日現在の割合。
3. 係長級は、行政職俸給表(一)3、4級(平成元年度及び10年度は104~6級)、本省課長補佐・地方機関の課長級は同5、6級(同107、8級)、本省課長・地方機関の長級は同7~10級(同109~11級)の任用者に占める女性の割合。
出典:平成21年版 男女共同参画白書

国家公務員管理職に占める女性割合の推移



(備考) 1. 平成15年度以降は人事院「一般職の国家公務員の任用状況調査報告」16年度以降は総務省・人事院「女性国家公務員の採用・登用の状況調査報告」16年度以降のフォローアップの集計結果より作成。
2. 調査対象は、平成15年度以降は「一般職給与法の行政職俸給表(一)及び指定職俸給表適用者であり、16年度以降はそれらに国家公務員(行政職俸給表(一))、指定職俸給表及び指定職俸給表適用者」が加わっている。
出典:平成21年版 男女共同参画白書

